



平成25年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年1月15日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 メディアクリエイト

コード番号 2451 URL <http://www.m-create.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 加藤 博彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長

(氏名) 栗原 浩一

TEL 055-929-8560

四半期報告書提出予定日 平成25年1月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年5月期第2四半期の業績(平成24年6月1日～平成24年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 25年5月期第2四半期 | 1,605 | △8.7 | △29 | — | △34 | — | △39 | — |
| 24年5月期第2四半期 | 1,758 | △0.8 | △23 | — | △28 | — | △34 | — |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年5月期第2四半期 | △7.72 | — |
| 24年5月期第2四半期 | △6.75 | — |

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|-------|-----|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 25年5月期第2四半期 | 1,602 | 616 | 38.5 |
| 24年5月期 | 1,831 | 656 | 35.8 |

(参考) 自己資本 25年5月期第2四半期 616百万円 24年5月期 656百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年5月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 25年5月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 25年5月期(予想) | — | — | — | 0.00 | 0.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年5月期の業績予想(平成24年6月1日～平成25年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|------|------|---|------|---|-------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 3,205 | △8.4 | 21 | — | 10 | — | 0 | — | 0.00 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日(平成25年1月15日)公表いたしました「平成25年5月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 四半期財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則「第5条の4に該当するものであります。詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|----------|-------------|--------|-------------|
| 25年5月期2Q | 5,153,700 株 | 24年5月期 | 5,153,700 株 |
|----------|-------------|--------|-------------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|----------|---------|--------|---------|
| 25年5月期2Q | 6,098 株 | 24年5月期 | 5,598 株 |
|----------|---------|--------|---------|

③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 25年5月期2Q | 5,147,959 株 | 24年5月期2Q | 5,148,388 株 |
|----------|-------------|----------|-------------|

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続きの対象外であります。この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料4ページ)「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 財政状態に関する定性的情報 | 3 |
| (3) 業績予想に関する定性的情報 | 4 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 5 |
| (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 5 |
| 3. 四半期財務諸表 | 6 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 6 |
| (2) 四半期損益計算書 | 8 |
| (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 11 |
| (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 11 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、復興需要を背景に緩やかながら回復の傾向をみせておりましたが、欧州債務危機の長期化、中国をはじめとするアジア経済の停滞の影響により、国内経済は依然先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような経済情勢の中、消費者の生活防衛意識や節約志向が根強く、当社が主力事業としている余暇産業の業界は、低価格競争が激化するなど大変厳しい状況で推移いたしました。

当社は、引き続き「お客様第一主義」「重点主義」「事業構造の変革」を基本方針とし、店舗における「快適な時間と空間」を提供することに注力するとともに、各種改装、設備投資を推進してまいりました。

なお当社は、店舗における不特定多数の方を対象としたサービス業の単一セグメントであるため、当第2四半期累計期間における事業別の業績を記載いたします。

| 事業部門 | | 販売高(千円) | 前年同期比(%) |
|------------------|-----------|-----------|----------|
| マルチメディア カフェ事業 | 直営事業 | 1,086,248 | 89.1 |
| | フランチャイズ事業 | 15,886 | 73.9 |
| | 小計 | 1,102,135 | 88.9 |
| カラオケ事業 | | 405,387 | 95.0 |
| その他事業 | | 98,039 | 107.1 |
| 合計 | | 1,605,562 | 91.3 |

① マルチメディアカフェ事業

マルチメディアカフェ事業は、直営事業及びフランチャイズ事業の合計で売上高は1,102百万円（前年同期比88.9%）となりました。

(直営事業)

マルチメディアカフェ直営事業は、「お客様のリクエストにお応えできる充実したサービスの提供」と「明るく開放感があり競争力のある店舗」を目指し、接客力の向上、清掃強化といったサービスの基本であるQSC（商品品質・サービス・清潔さ）教育を継続し、合わせて各種営業施策を実施してまいりました。

設備投資に関しましては、電力料金の値上げに対応するため、キュービクル常時監視システムを導入し使用電力の「見える化」及びLED照明等の省エネ設備への切替を推進しました。

同時にQSC向上を目的にトイレ衛生設備のリフレッシュを実施してまいりました。また、麻雀格闘倶楽部のコンバージョンキットによるバージョンアップやオンラインダーツへの入替・バージョンアップを積極的に推進いたしました。

店舗数につきましては1店舗の閉店があったことにより、前事業年度末より1店舗減少した33店舗となっております。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は1,086百万円（前年同期比89.1%）となりました。

(フランチャイズ事業)

マルチメディアカフェフランチャイズ事業は、日々の営業活動から生じるロイヤルティ収入及び備品販売を売上高に計上しております。店舗数につきましては2店舗の閉店があったことにより、前事業年度末より2店舗減少した7店舗となっております。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は15百万円（前年同期比73.9%）となりました。

②カラオケ事業

カラオケ事業は、一部の地域で競争環境は厳しさを増しているものの、接客レベルを上げるQSC教育を継続してまいりました。設備投資に関しましては、最新機種の通信型カラオケ機器を全社で積極的に導入し、提供サービスの向上を図ってまいりました。店舗数につきましては当第2四半期累計期間において変動はなく、前事業年度末と同数の13店舗となっております。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は405百万円（前年同期比95.0%）となりました。

③その他事業

その他事業として短時間で高品質なサービスを低料金を提供する美容室「イレブン・カット」を株式会社エム・ワイ・ケーとエリアフランチャイズ契約を締結し、愛知県・静岡県内に合計6店舗を運営しており、引き続き認知度を高める施策を講じてまいりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は98百万円（前年同期比107.1%）となりました。

これらの結果、当第2四半期累計期間における売上高は1,605百万円（前年同期比91.3%）となりました。一方、売上原価、販売費及び一般管理費は、全社的な経費削減活動の推進により1,635百万円（前年同期比91.8%）となりました。

その結果、営業損失は29百万円（前年同期は営業損失23百万円）、経常損失は34百万円（前年同期は経常損失28百万円）となりました。また、繰延税金資産の変動等により、四半期純損失は39百万円（前年同期は四半期純損失34百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産の部)

当第2四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末より228百万円減少した1,602百万円となりました。これは主に現金及び預金211百万円の減少によるものです。

(負債の部)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末より189百万円減少した985百万円となりました。これは主に借入金及び社債125百万円の減少によるものです。

(純資産の部)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、四半期純損失39百万円の計上により、前事業年度末より39百万円減少した616百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物は167百万円となり、前事業年度末と比較して223百万円減少いたしました。当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は12百万円（前年同期は117百万円の獲得）となりました。これは主に、減価償却費99百万円に対し、税引前四半期純損失34百万円等があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は31百万円（前年同期は39百万円の使用）となりました。これは主に、敷金及び保証金の回収による収入14百万円に対し、有形固定資産の取得による支出32百万円等があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は204百万円（前年同期は57百万円の使用）となりました。これは主に、長期借入金、社債の返還及びリース債務の返済による支出204百万円があったことによるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績に関しましては、今後も厳しい経済不況が継続されると予想されることを勘案し、平成24年7月6日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細は、本日（平成25年1月15日）に公表いたしました「平成25年5月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

このような状況のもと、当社といたしましては、引続きQSC（商品品質・サービス・清潔さ）教育の徹底により店舗運営力及び競争力強化を重点課題とし対策を講じてまいります。より一層の全社的な経費削減活動を推進し、収益力向上に努めてまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年6月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成24年5月31日) | 当第2四半期会計期間 (平成24年11月30日) |
|------------|-----------------------|-----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 409,669 | 198,003 |
| 売掛金 | 4,407 | 4,745 |
| 原材料及び貯蔵品 | 21,296 | 22,842 |
| その他 | 111,290 | 78,658 |
| 貸倒引当金 | △208 | △197 |
| 流動資産合計 | 546,455 | 304,052 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物（純額） | 598,952 | 601,820 |
| リース資産（純額） | 239,874 | 257,921 |
| その他（純額） | 64,019 | 54,239 |
| 有形固定資産合計 | 902,846 | 913,981 |
| 無形固定資産 | 4,781 | 5,070 |
| 投資その他の資産 | | |
| 敷金及び保証金 | 358,004 | 353,488 |
| その他 | 17,109 | 24,515 |
| 投資その他の資産合計 | 375,113 | 378,003 |
| 固定資産合計 | 1,282,741 | 1,297,055 |
| 繰延資産 | 2,538 | 1,796 |
| 資産合計 | 1,831,736 | 1,602,904 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成24年5月31日) | 当第2四半期会計期間 (平成24年11月30日) |
|---------------|-----------------------|-----------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 34,359 | 33,470 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 160,080 | 151,725 |
| 1年内償還予定の社債 | 70,000 | 40,000 |
| リース債務 | 141,181 | 146,342 |
| 未払金 | 170,017 | 147,197 |
| 未払法人税等 | 13,635 | 7,883 |
| その他 | 57,146 | 20,105 |
| 流動負債合計 | 646,420 | 546,723 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 60,000 | 45,000 |
| 長期借入金 | 206,527 | 134,842 |
| リース債務 | 185,219 | 183,573 |
| 退職給付引当金 | 31,351 | 30,786 |
| 負ののれん | 541 | — |
| その他 | 45,055 | 45,000 |
| 固定負債合計 | 528,694 | 439,201 |
| 負債合計 | 1,175,114 | 985,925 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 429,215 | 429,215 |
| 資本剰余金 | 335,167 | 228,444 |
| 利益剰余金 | △106,722 | △39,745 |
| 自己株式 | △727 | △762 |
| 株主資本合計 | 656,931 | 617,151 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △310 | △172 |
| 評価・換算差額等合計 | △310 | △172 |
| 純資産合計 | 656,621 | 616,978 |
| 負債純資産合計 | 1,831,736 | 1,602,904 |

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日) | 当第2四半期累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日) |
|--------------|--|--|
| 売上高 | 1,758,203 | 1,605,562 |
| 売上原価 | 1,629,423 | 1,491,022 |
| 売上総利益 | 128,779 | 114,539 |
| 販売費及び一般管理費 | 151,970 | 144,180 |
| 営業損失(△) | △23,190 | △29,640 |
| 営業外収益 | | |
| 設備賃貸料 | 23,500 | 11,100 |
| 受取手数料 | 2,791 | 5,331 |
| 広告収入 | 4,225 | 3,132 |
| 負ののれん償却額 | 1,083 | 541 |
| その他 | 3,181 | 2,403 |
| 営業外収益合計 | 34,782 | 22,509 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 17,023 | 10,552 |
| 設備賃貸費用 | 19,223 | 13,422 |
| その他 | 3,951 | 3,030 |
| 営業外費用合計 | 40,198 | 27,005 |
| 経常損失(△) | △28,606 | △34,135 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 1,290 | 656 |
| リース解約損 | 335 | 45 |
| 特別損失合計 | 1,625 | 701 |
| 税引前四半期純損失(△) | △30,232 | △34,837 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 3,837 | 3,362 |
| 法人税等調整額 | 657 | 1,545 |
| 法人税等合計 | 4,494 | 4,907 |
| 四半期純損失(△) | △34,727 | △39,745 |

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日) | 当第2四半期累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日) |
|-------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前四半期純損失(△) | △30,232 | △34,837 |
| 減価償却費 | 145,795 | 99,470 |
| 負ののれん償却額 | △1,083 | △541 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △25 | △10 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | 1,868 | △565 |
| 受取利息及び受取配当金 | △35 | △45 |
| 支払利息 | 17,023 | 10,552 |
| 社債発行費償却 | 1,023 | 742 |
| 固定資産除却損 | 1,290 | 656 |
| リース解約損 | 335 | 45 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 31 | △337 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 283 | △1,545 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 1,292 | △889 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | 6,776 | △27,057 |
| その他 | △1,917 | △3,967 |
| 小計 | 142,426 | 41,666 |
| 利息及び配当金の受取額 | 35 | 45 |
| 利息の支払額 | △17,254 | △10,593 |
| リース契約解除による支出 | △264 | △10 |
| 店舗閉鎖損失の支払額 | — | △11,212 |
| 法人税等の支払額 | △7,531 | △7,576 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 117,410 | 12,319 |

(単位：千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日) | 当第2四半期累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日) |
|----------------------|--|--|
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △10,045 | △10,047 |
| 定期預金の払戻による収入 | 10,044 | 10,046 |
| 定期積金の積立による支出 | △12,000 | △12,000 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △14,197 | △32,819 |
| 有形固定資産の除却による支出 | △77 | △82 |
| 関係会社株式の取得による支出 | △6,000 | — |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △6,124 | △235 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 215 | 14,862 |
| その他 | △870 | △811 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △39,055 | △31,086 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 147,500 | — |
| 長期借入れによる収入 | 100,000 | — |
| 長期借入金の返済による支出 | △178,284 | △80,040 |
| 社債の償還による支出 | △45,000 | △45,000 |
| リース債務の返済による支出 | △82,144 | △79,825 |
| 自己株式の取得による支出 | △36 | △35 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △57,964 | △204,900 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | — | — |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 20,390 | △223,667 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 260,190 | 391,622 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 280,580 | 167,955 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年8月17日開催の定時株主総会の決議により、資本準備金を106,722千円取り崩し、その他資本剰余金に振替いたしました。また、その他資本剰余金106,722千円で繰越利益剰余金の欠損填補を行いました。この結果、資本剰余金が106,722千円減少し、利益剰余金が106,722千円増加いたしました。